

講演者紹介 Speakers introduction



西村 裕三教授
Prof. Hiromi Nishimura

広島大学大学院
社会科学部研究科長
(Dean, Graduate School of
Social Sciences,
Hiroshima University)
- Constitutional Law in Japan



ヴェロニック・パリゾ博士
Dr. Véronique Parisot

ブルゴーニュ大学大学院
ドゥニ・デイドロ研究所理事
(Director, Department of
Denis Diderot Institute,
University of Burgandy)
- Private Law in France



アンドレアス・シェラー博士
Dr. Andreas Scheller

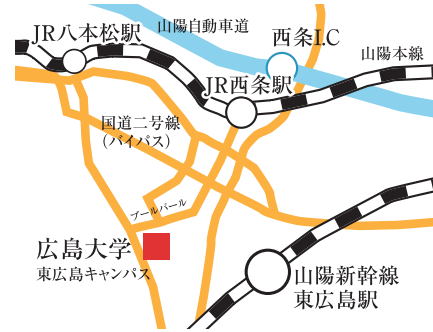
広島国際大学
医療福祉学部准教授
(a. Professor, Faculty of Health and Welfare,
Hiroshima International University)
- Administrative Law in Germany



マッシミリアーノ・ランツイ博士
Dr. Massimiliano Lanzi

パルマ大学法学部助教、
法廷弁護士
(Assistant, Faculty of Law,
University of Parma, Barrister-at-law)
- Criminal Law in Italy

MAP & ACCESS



JR山陽本線を利用する場合

- JR西条駅前からバス「広島大学」行に乗り、「大学会館前」バス停で下車します。(約20分)
- JR八本松駅前からバス「広島大学」行に乗り、「大学会館前」バス停で下車します。(約20分)
※JR西条駅からのほうが、バスの便数が多く便利です。

山陽新幹線を利用する場合

- 新幹線東広島駅前からバス「広島大学」行に乗り、「大学会館前」バス停で下車します。(約15分)
※バスの便数が少ないため、時刻表を確かめてからお越しください。
※東広島駅は、ほぼ「こだま」のみの停車のため、新幹線広島駅で下車し、JR山陽本線で西条駅まで来る方が早い場合もあります。
- 東広島駅から東広島キャンパスまでタクシーを利用した場合は、所用時間約15分。



CONTACT / お問い合わせ

広島大学大学院社会科学部研究科運営支援グループ
〒739-8525 東広島市鏡山1-2-1
Tel: 082-424-7203 Fax: 082-424-7212
E-mail: syakai-soumu-kaikai@office.hiroshima-u.ac.jp
Prof. Nobuhito Yoshinaka (Vice-dean, Faculty of Law)
1-2-1 Kagamiyama Higashi Hiroshima city 739-8525
Tel: +81-82-424-7223 Fax: +81-82-424-7212
E-mail: nobuhito@law.hiroshima-u.ac.jp

広島大学



HIROSHIMA UNIVERSITY

平成26年度「スーパーグローバル大学創成支援」事業
広島大学大学院社会科学部研究科・法政システム専攻取組事業
「非英語圏における英語による法学教育国際ネットワークの構築」



日本と欧州における英語による 法教育の可能性

Legal Studies Taught in English:
Current Situation and Problems in Japan and Europe

主催：広島大学大学院社会科学部研究科法政システム専攻
(寺本康俊専攻長・法学部長)

Host Organisation: Department of Law and Politics,
Graduate School of Social Sciences, Hiroshima University
(Dean, Prof. Dr. Yasutoshi Teramoto)

言語：日本語・英語(逐次通訳・同時通訳)
/ English-Japanese (Consecutive/Simultaneous Interpretation)



趣旨

現在、大学における国内法の教育は、大きな変革の波を
迎えている。この波は、国内的な理由と国際的な理由の双方
から発生している。前者は、法曹養成が法科大学院によって
担われる一方、刑事裁判には裁判官法が導入されて、大学
における法学教育には、自国の法を、日本語によって分かり
やすく説明したり、あるいはそれを英語によって説明したり
するような、一般的で柔軟な能力の涵養が求められているこ
とによる。法学部の学生が、ジャルゴンに満ちた、専門家にし
か分からない難解な議論を日本語のみで熱く行う時代は終
わりを告げようとしているのだろうか。

そして、後者については、世界の法制度における、英米法、
とくにアメリカ法の影響が、法学の多くの分野で無視できな
いほど大きくなっていることである。日本では、憲法をはじ
め、刑事訴訟法、会社法等、特に第二次大戦後にアメリカ法
の影響を強く受けた法分野が存在しているが、刑法、民法、
行政法等、戦前の大陸法の影響が強く残る法分野もいぜん
存在しており、法理論は、大陸法の影響を前提に構築されて
いる。しかし、日本の法学部で教育を受けた者が、その内容
を英語で説明できなかつたり、対応する概念を英米法概念
の中に見出せなかつたりすれば、英米法圏の人々との交流
は断絶されてしまうだろう。この点、同じく大陸法を基本とす
る欧州諸国では、どのようにこの問題に対応しているのだろ
うか。我々は、まずその現状を知り、英語による法教育の可能
性と限界を探らなければならない。そこで、このセミナーで
は、ドイツ、フランス、イタリアから、この問題に造詣の深い研
究者を招聘し、検討を行うことにしよう。

プログラム 3/26(木)

全体会：広島大学法学部大会議室(法学部経済学部棟3階)
司会：吉中 信人 教授(広島大学法学部副学部長)

- 13:30~13:45 挨拶 西谷 元 教授(広島大学副学長)
- 13:45~14:15 「日本における英語による憲法教育の現状と課題」
西村 裕三 教授 (広島大学大学院社会科学部研究科長)
- 14:15~15:15 「フランスにおける英語による民法教育の現状と課題」
ヴェロニーク・パリソ博士(ブルゴーニュ大学大学院ドゥニ・テイドロ研究所理事)
- 休憩
- 15:30~16:00 「ドイツにおける英語による行政法教育の現状と課題」
アンドレアス・シェラー博士 (広島国際大学医療福祉学部准教授)
- 16:00~17:00 「イタリアにおける英語による刑法教育の現状と課題」
マッシミリアーノ・ランツィ博士(パルマ大学法学部助教、法廷弁護士)
- 17:00~17:30 質疑応答
- 17:30 挨拶 江頭 大蔵 教授(広島大学学士課程会議委員)
- 18:00 講演者レセプション

Programme 26 March (Thurs.)

Large Meeting Room (Level 3, Faculty of Law)
Coordinator: Prof. Nobuhito Yoshinaka (Vice-dean, Faculty of Law, Hiroshima University)

- 13:30~13:45 Opening Greetings
Prof. Hajime Nishitani (Vice-President, Hiroshima University)
- 13:45~14:15 'Constitutional Law Taught in English:
Current Situation and Problems in Japan'
Prof. Hiromi Nishimura (Dean, Graduate School of Social Sciences)
- 14:15~15:15 'Private Law Taught in English:
Current Situation and Problems in France'
Dr. Veronique Parisot (Director, Department of Denis Diderot Institute, University of Burgandy)
- Break
- 15:30~16:00 'Administrative Law Taught in English:
Current Situation and Problems in Germany'
Dr. Andreas Scheller (a. Professor, Faculty of Health and Welfare, Hiroshima International University)
- 16:00~17:00 'Criminal Law Taught in English:
Current Situation and Problems in Italy'
Dr. Massimiliano Lanzi (Assistant, Faculty of Law, University of Parma, Barrister-at-law)
- 17:00~17:30 Questions and Answers
- 17:30 Greetings
Prof. Daizou Egashira (Member of the Undergraduate Programs Committee,
Hiroshima University)
- 18:00 Reception for Speakers

プログラム 3/27(金)

分科会

- 10:00~12:00 民事法部会
広島大学法学部大会議室(法学部経済学部棟3階)
司会：鳥谷部 茂(広島大学大学院社会科学部研究科教授)
指定コメンテーター：金 鉉善(広島大学大学院博士課程後期)
- 公法・刑事法部会
広島大学法学部中会議室(法学部経済学部棟1階)
司会：吉中 信人(広島大学大学院社会科学部研究科教授)
指定コメンテーター：河村 有教(海上保安大学校准教授)
- 昼食
- 15:00-16:30 広島地方裁判所見学
- 16:30 閉会挨拶
吉中 信人(広島大学大学院社会科学部研究科教授)

Programme 27 March (Fri.)

Sessions

- 10:00~12:00 Private Law Session
(Large Meeting Room, Level 3, Faculty of Law)
Coordinator: Prof. Dr. Shigeru Toriyabe
(Graduate School of Social Sciences, Hiroshima University)
Commentator: Dr. Kim Hyunsun
(Graduate School of Social Sciences, Hiroshima University)
- Public Law Session
(Middle Meeting Room, Level 1, Faculty of Law)
Coordinator: Prof. Nobuhito Yoshinaka
(Graduate School of Social Sciences, Hiroshima University)
Commentator: a. Prof. Dr. Arinori Kawamura
(Faculty of Maritime Police, Japan Coast Guard Academy)
- Lunch
- 15:00-16:30 Visit to the District Court of Hiroshima
- 16:30 Closing Greetings
Prof. Nobuhito Yoshinaka
(Graduate School of Social Sciences, Hiroshima University)